



若い外国人女性の屈託のない笑顔が展覧会場いっぱいにあふれている。暗くした部屋の壁面や床に次々にプロジェクターで投影され、笑い顔が現れては消える。写真。

この展覧会「MERRY IN NEW YORK」は、タイエー・ホークスのロゴマークのデザインで知られる著名なアートディレクター、水谷孝次(五)が企画した。

### 笑顔通じたコミュニケーション・アート

水谷は昨年、9・11テロの起こった一年後のニューヨークを訪れ、十日間かけて撮影した。被写体はみな二十歳前後の女性で、その数は四百人にも及ぶ。

オープニング初日の十四日には東京の展覧会場とニューヨークをインターネットで結び、日米の四人の若い女性が話し、笑顔を交換しているシーンも壁面に投影された。特殊なガラスにより、外の風景が粉々に崩壊したように見える空間にあって、いかにも未来的な雰囲気をかもし出していた。

展覧会に併せ、フリーペーパーも発行。東京はもちろんニューヨークのMOMAなどのミュージアム・ショップや書店に置かれ、笑顔の輪を広げている。笑顔を通じたコミュニケーション・アートは世界に発信。展覧会は午後6時半～午前1時、23日まで、会場は東京都港区六本木6ノ2ノ31、THINK ZONE。

(S)

「MERRY IN NEW YORK」東京・六本木 23日まで



平成15年(2003)日刊21660号

2/22 [土]



産業経済新聞(サンケイ)  
THE SANKEI SHIMBUN

発行所 ©産業経済新聞東京本社2003  
〒100-8077東京都千代田区大手町1-7-2  
☎ 東京(03)3231-7111(大代表)